

# 会 議 記 録

作成部局課名 塩田地域自治センター

開催日	平成 21 年 9 月 24 日(木)	開催時刻	13 時 30 分から 16 時 40 分
会議名	塩田地域協議会(平成 21 年度第 6 回)		
出席者	委員 20 名(欠席者 なし)		
事務局 出席者	出席職員 神林センター長 古川センター長補佐兼庶務企画係長 伊藤交流・文化施設建設準備室長		

## 会議次第

- 1 開会 (塩田地域自治センター長)
- 2 会長あいさつ (大口会長)

概 略 本日は、委員全員の出席により活発な協議となることを期待する。当協議会にあっては、「別所線電車存続について」や「地域の観光」など大きなテーマについて、煮詰めて方向を出したいので各自の意見を聴いてまとめたい。J T 開発地における交流・文化施設のありかたについては、検討結果報告を聞いて良い方向を出して行きたい。反対運動があるが、将来に向けて進めて行きたい。

## 3 報告事項

- (1) J T 開発地における交流・文化施設のありかたについて(担当課：交流・文化施設建設準備室)

### 説明要旨

J T 開発地における交流・文化施設のありかたについて、平成 20 年 8 月 1 日委員 25 名による検討委員会を発足させた。延べ 25 回の検討の結果 8 月 28 日に最終報告をもらった。3 月の中間報告を受けて、各地域協議会への概要説明や 8 会場での市民公聴会、パブリックコメント、7 回の出前講座などで市民に説明してきた。

J T 開発地における交流・文化施設のありかた検討結果報告書により詳細説明

### 主な質疑

- ・ 検討委員会のまとめは、東信の中核都市にふさわしい物をと考えている。
- ・ 事業費約 135 億円の財源として、合併特例債の使い方はどうか。ハツ場ダムのように中止にならないか。
- ・ 施設の使用にあたり、高齢者や障がい者にやさしい施設としての配慮はあるのか。
- ・ 他の各施設の規模(収容人数)は、どのようになっているのか。
- ・ 施設の駐車台数には限度があるが、上田駅からのシャトルバスなどの運行はあるのか。
- ・ よくまとまった報告書だと思うが、観光面(上田城と千曲川に挟まれた地形)でも活用してもらいたい。
- ・ 大ホールは、クラシック音楽用ではないとのことだが、何をするホールなのか検討して欲しい。

- ・ 大ホールは、音響効果を高めて欲しい。椅子の位置は、前後を交互にした設置としてもらいたい。

回答

- ・ 全体事業費には用地費、建設費、広場や駐車場整備費、設計関係費、備品購入費及び市民会館解体費などが含まれている。約 135 億円の財源は、まちづくり交付金約 14 億円、合併特例債約 111 億円（70%交付税措置、交付税不足分一般財源約 33 億円）、一般財源約 10 億円を予定している。実効性については、市長答弁として最重要課題と位置づけており、最大限の努力をする。
- ・ 施設については、誰もが等しく利用できる施設としてユニバーサルデザインを目指しており、具体的には今後の課題となる。
- ・ 各施設の収容人数は上田文化会館（中ホール規模）500 人、丸子文化会館（中ホール規模）808 人、同じく小ホール（平土間）300 人、創造館（広域連合）500 人、信州国際音楽村（こだまホール）300 人、市民会館 1,330 などとなっている。
- ・ 駐車場については、約 400 台を予定しており少ないとの意見もあるが、上田駅から近いのであらゆる交通機関を使ってもらいたいと思っているが、具体的には今後になる。
- ・ 大ホールは、多目的ホールを考えており、内容により設備が変わってくるのでそのための環境づくりは考えている。クラシック人口は、つかんでいないが増加傾向かと思っている。
- ・ 音響効果については、設計の中で検討したい。

4 協議事項

(1) 別所線電車存続について

主な質疑

- ・ 別所温泉行きの電車は、夜遅くなると別所温泉まで行かなくて不便であり、何とかならないものか。秋の札所めぐりに活用したいと思っている。
- ・ 夜遅い別所線の電車は、新幹線との連絡をつけて欲しい。
- ・ 行政は、前向きな意見を持っており安全対策や運行改善などを提示しているが、会社側の反応が鈍い。学割 50%、通勤割引 35%が限度で、自治会回数券の改善姿勢が見られない。会社側の改善についても意見書に入れてもらいたい。
- ・ 「乗って残す」議論はしているが、一般住民が理解されていないので運動の趣旨を周知する必要がある。情報の共有化など各自治会への説明も必要である。
- ・ 期成同盟会としては、各地区で「乗って残す」旗を設置してきた。
- ・ 上田への観光や別所線を有名にして欲しい。残すため、各世帯で募金する位の取り組みが必要である。

- ・ 自治会連合会へ協賛金を要請することも検討したい。
- ・ 乗るのは住民であるが、その住民への情報がない(少ない)。自治会連合会のアンケートなどで、利用状況の実態調査なども必要である。自治会連合会へ調査要請してはどうか。(各自治会での調査)
- ・ 自治会連合会へ協賛金依頼も必要ではないか。協議会で1駅でも乗車してみてもどうか。
- ・ 協賛金は、何に使うのか。
- ・ 協賛金は、市から上田電鉄への補助金の一部に充てるもの。
- ・ 別所線の利用者調査は、会社側では難しいと思う。
- ・ 定期代について、思い切った割引をしてみてもどうか。それでも乗らないとすれば仕方ないが、一度やってみたらどうか。
- ・ 「乗って残す」これ以上大幅な補助は難しい。他地区の住民は、塩田の住民が乗らなくては残せない。廃止も仕方ないといわれている。別所線を文化財として捕らえる住民が、支援する気持ちがないと残せない。
- ・ 自分は、電車を利用しているが、昼間は1人で乗ることが多い。別所温泉での地産地消で、野菜を食べたいと思っている人も多いので、別所温泉の活用を含めて考えてもらいたい。
- ・ 別所温泉魅力創生協議会では、地産地消について協議しており地産地消を推進して行きたい。
- ・ 別所線も観光として捉えて考えてゆかなくてはならない。利用についてのアンケート調査は必要と思う。
- ・ 西塩田の意見として、終電に限らず始発の電車についても、別所温泉から出て欲しい。
- ・ これらのことは、ぜひ地元の議員にも考えてもらえらると思う。
- ・ 目的地までの比較として自家用車は、電車に比べて時間は約 1/2、経費は約 1/3 程度であることに対する会社側の回答がなく話が詰まってしまった。電車の存続は、地域住民の理解と協力が必要である。行政からの支援を知らない住民が多い。行政支援の情報を共有し、場合によっては住民によるカンパも検討するなど住民の議論が必要になる。
- ・ 期成同盟会から、行政の取り組みなどを住民に周知する必要がある、回覧板などを作ってもらいたい。
- ・ サマーウォーズ効果を活用してPR する必要がある。
- ・ 戦国武将ブームの真田幸村人気を活用してはどうか。

#### 決定事項

- ・ これらの意見を集約して、意見書を提出する。

### 主な質疑

- ・ 地域振興として、買い物や食事などで塩田へお金を落としてもらいたい。地域へお金を落としてもらうための仕組みづくりが欲しい。東塩田地域への誘客についても考えてもらいたい。
- ・ 観光関係者間の連絡（情報の共有化）を取れる役割が欲しい。
- ・ 別所温泉地区の歩行者天国化の他、東塩田地域にもすばらしい素材があるので、安心して歩ける歩道の整備や確保が必要である。自然に足が向くようなものが欲しい。石神地域の県道が危険である。
- ・ 行政による、更なる観光情報の発信をお願いしたい。丸子地域から東塩田へ入ってくる道路など案内看板の整備や設置が必要である。コア施設の活用のほかいろいろな施設の活用について、協議するなど情報の提供が必要である。
- ・ コア施設の管理は、西塩田地域が担当するとしているが、文化活動は観光に結びつくような気がする。居住地において、関心のある人に来てもらうような気持ちでいいと思う。
- ・ 観光にあたり、自分がどこへ行きたいか考えてみればいい。そのミニ版として、塩田にある素材の活かし方について考えたいものである。
- ・ 塩田の特産品、食のブランド化を考えてみてはどうか。
- ・ 東塩田には、西塩田や別所温泉と比較してメインになるものがない。以前別所温泉には、昼食をする所がないと言われていたが何とかならないものか。
- ・ 市の観光ビジョンでは、塩田は「ローカル線で味わう田園エリア」とされており、別所線は風景になるので住民が情報発信をしてもらいたい。映画やテレビを活用して田園風景をPRしてもらいたい。
- ・ 自分が、バスで旅行に行くルートが決まっているが、全国の旅行会社もルートを承知しているものか。電車に乗ることと、バスによる観光地めぐりは矛盾している。宿泊客の実態調査をするなど状況確認やアンケートなど旅行者の情報を入手して理解する必要がある。体験観光が着目されているが、実態が分かっていない。
- ・ 農業を活用した雇用創出を検討してはどうか。果樹のオーナー制度のほか観光農園での作物を別所温泉で提供してはどうか。
- ・ 石神地域では、県道の拡幅が出来ないのでバイパス化を考えており、水田を手放すことになる心配がある。遊休農地がたくさんあり、観光グリーンツーリズムに活用できればいい、ワイン用のぶどうを作り自分のワインを造りたいと考えている人もいる。何かのイベントの開催に合わせて、食や体験を提供してはどうだろうか。
- ・ 各地域でのイベントを、連携付けることから観光を組み立てることが重要である。
- ・ お互いに情報が不足しているので、各団体間の情報の共有化を図る必要がある。
- ・ 地域協議会と塩田地区振興会連絡協議会との懇談会を開催すればよい。

決定事項

- ・ 本年中に、観光協会や観光業者などの団体と協議する場を設定し、今後に向けて前向きな検討をしていきたい。

(3) その他

- ア 塩田地域自治センターの外壁の色合いについて（色サンプルの比較）  
塩田中学校の外壁の色より少し淡い色合いとすることで決定した。

5 その他

当面の日程についての連絡

6 閉会